

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

## 心身障害児者の支援は！



質問者  
利根川 茂 議員

現在、心身障害児者が日本の人口に占める割合は6%と言われております。松田町にも500名を超える方々がいられます。

そこで町長にお伺いします。

① 障害者雇用促進法に規定されている率を町職員として常勤雇用しているか。

② 障害者総合支援法は、充分機能し本町の障害者のためになっているか。

③ 本町の保育所・幼稚園に、心身障害児クラスの設定と、病弱児保育の実施をされるお考えは。

以上3点について、お伺いします。

### A 障害者支援を続けます

回答（町長）



① 障害者雇用促進法で定められている率による常勤職員雇用人員は、2名です。

平成26年度職員採用試験において、2名の障害者に、採用通知を出したが、残念ながら辞退をされた。

今後も積極的に障害者雇用を図っていきたくと考え、ホームページに継続して募集案内を行っている。

② 平成25年4月より、難病患者の方も、この障害者総合支援法の対象となり、援助・給付施策を行っている。今後も「制度の谷間」のない身体的・知的・精神障害者、難病

患者の支援を行っていく。③ 保育所・幼稚園に障害児クラスの設置は、対象児がほとんどいない状況です。病弱児保育は、平成28年度から計画し、実施したい。

## 交流人口（観光客）の増加策を問う



質問者  
中野 博 議員

全国的に人口が減少し続ける中、各自治体では定住化対策に躍起になっていますが、結局は自治体間の人口の取り合いでしかありません。

定住化に特策が見出せないのであれば、活性化のために、松田町の特長を生かした交流人口の増加策を考えるべきと思ひ、次のことに対してお聞きします。

① 寄地区の自然を生かした観光客誘致の対策は？

② 松田ブランド（食べ物）の開発は？

③ 街中にトイレを設置する考えは？

### A 町が活性化し生き残るために

回答（町長）



① 2020年に開催さ

れる東京オリンピック、新東名のインター建設（秦野・山北）、南足柄と箱根を結ぶ「南箱道路」の開通に伴い、観光客の増加が予想できることから、寄地区に誘致するためにも、現在閉鎖されている玄倉と寄を結ぶ秦野峠林道の整備、開通を山北町と共に県に強く要望していく。

② 交流人口増加のためには、独自の「食のブランド」創りが必要なため、町の素材に合わせた物を、飲食店組合、商工振興会と共に行政も加わり、必要に応じて専門家を招いて開発を図っていく。

③ 町づくりや施設計画をしっかり立てないで、常設のトイレ設置を急いでしまうと、再度取り壊しや移動を余儀なくされるので、それまでは、見た目にも機能的にも充分に対応できる、おしゃれな仮設トイレを設置していく。